

## 文献

- 芥川 知彰, 西上 智彦, 榎 勇人, 石田 健司, & 谷 俊一. (2007). 2次元での簡易的な身体角度計測の信頼性 臨床普及の観点から. *理学療法科学*, 22(3), 369-372.
- 穴沢 小百合, 松山 友子, & 吉満 祥子. (2007). 「点滴静脈注射を受けている患者のトイレ歩行援助」の演習の工夫 教材"ドリッ君"の開発. *看護教育*, 48(6), 508-513.
- 安藤 詳子, 渡邊 憲子, 渡邊 順子, 水野 智, 小野 雄一郎, & 谷口 元. (1997). 入院患者による病院生活環境評価 (その1) 設備品に関して. *病院管理*, 34(4), 385-390.
- 有壁 真梨, 松本 美子, 菅野 有美子, 伊藤 沙樹, 中田 春美, 片岡 則子, & 寺島 泰子. (2013). 整形外科病棟の入院患者が体験する転倒ヒヤリの実態. *日本看護学会論文集: 看護管理*, (43), 39-42.
- アトムメディカル株式会社. (2015). アトム I.V ガートル台 S  
[http://www.atomed.co.jp/product/cat\\_nursing/detail/139](http://www.atomed.co.jp/product/cat_nursing/detail/139). [2015/07/10]
- Barak, Y., Wagenaar, R. C., & Holt, K. G. (2006). Gait characteristics of elderly people with a history of falls: A dynamic approach. *Physical Therapy*, 86(11), 1501-1510. doi:86/11/1501 [pii]
- Bohannon RW. (1997). Comfortable and maximum walking speed of adults aged 20-79 years: Reference values and determinants. *Age and Ageing*, 26(1), 15-19.
- Cao, C., Ashton-Miller, J. A., Schultz, A. B., & Alexander, N. B. (1997). Abilities to turn suddenly while walking: Effects of age, gender, and available response time. *The Journals of Gerontology. Series A, Biological Sciences and Medical Sciences*, 52 (2), M88-93.
- Community team's drip stand design attracts interest from RAF. (2008). *Nursing Standard*, 22 (30), 11. <http://web.a.ebscohost.com/ehost/pdfviewer/pdfviewer?vid=5&sid=cbb32015-9151-4883-a171-0cb211d04557%40sessionmgr4002&hid=4114>. [2015/07/07]
- Cumming, R. G., & Klineberg, R. J. (1994). Fall frequency and characteristics and the risk of hip fractures. *Journal of the American Geriatrics Society*, 42(7), 774-778.
- 江原 義弘. (2008). 第5章 ビデオカメラとVTRによる歩行計測, 臨床歩行分析研究会監修, 臨床歩行計測入門. 44. 医歯薬出版. 東京.
- 江原 義弘. (2012). リハビリテーションにおける動作解析 動作解析の現状と課題. 総合リ

ハビリテーション, 40(3), 953-958.

藤井 千枝子. (2008). 第Ⅱ編基礎看護技術の知識・技術・応用 7 点滴静脈内注射, 三上れつ, 小松万喜子編著, 演習・実習に役立つ基礎看護技術 根拠に基づいた実践をめざして, 224-231, ヌーヴェルヒロカワ. 東京.

深井 喜代子. (2008). 新体系看護学全書: 12 基礎看護学 3 基礎看護技術Ⅱ, 294, メヂカルフレンド. 東京.

舟田 恵美, 大谷 真奈美, 徳永 なおみ, & 野口 一重. (2012). 抗癌剤曝露による環境汚染調査 A 病棟のシクロフォスファミドによる環境汚染の実態. *日本看護学会論文集: 成人看護Ⅱ*, (42), 176-178.

二口 泰三. (2013). 私たちの工夫 輸液スタンド一体型救急バッグの開発. *プレホスピタル・ケア*, 26(6), 55-57.

Fried LP, Tangen CM, Walston J, Newman AB, Hirsch C, Gottdiener J, . . . Cardiovascular Health Study Collaborative Research Group. (2001). Frailty in older adults: Evidence for a phenotype. *The Journals of Gerontology. Series A, Biological Sciences and Medical Sciences*, 56(3), M146-56.

Glaister, B. C., Bernatz, G. C., Klute, G. K., & Orendurff, M. S. (2007). Video task analysis of turning during activities of daily living. *Gait & Posture*, 25(2), 289-294. doi:S0966-6362(06)00064-6 [pii]

後藤 幸弘, 松下 健二, 本間 聖康, 辻野 昭, & 岡本 勉. (1978). 歩行の筋電図的研究: 各種歩行速度における筋電図の変化. *大阪市大保健体育学研究紀要* 13, 39-52.

Guimaraes, R. M., & Isaacs, B. (1980). Characteristics of the gait in old people who fall. *International Rehabilitation Medicine*, 2(4), 177-180.

蜂ヶ崎 令子. (2012). 点滴スタンドの高さと支柱把持高が健康な 60-70 歳の歩容に与える影響. *日本看護技術学会誌*, 11(2), 38-47.

蜂ヶ崎 令子. (2015). 点滴スタンド使用時の危険性: 看護師に対する質問紙調査から. *日本看護技術学会誌*, 14(1), 86-95.

Hachigasaki R., Hishinuma M., & Yamamoto S. (2014). A Comparison of the Grip Setting of the IV Pole while Walking :Presence or Absence, 50% or 60% of a User's Height Setting, The 10th Pan-Pacific Conference on Ergonomics Proceedings of Abstracts, *Journal of Ergonomics in Occupational Safety and Health*, 16 Supplement, 44.

- Hase, K., & Stein, R. B. (1999). Turning strategies during human walking. *Journal of Neurophysiology*, 81(6), 2914-2922.
- 羽下 芙美緒, 蒲田 真由美, 森田 里美, 上野 直子, 橋本 明美, & 平岡 敬子. (2005). 脊髄損傷患者に使用中のタッチ式ナースコール固定台の改良と効果. *日本看護学会論文集: 成人看護II*, (36), 384-386.
- 畠中 泰彦. (2008). 第5章ビデオカメラとVTRによる歩行計測, 臨床歩行分析研究会監修, 臨床歩行計測入門, 55-57, 医歯薬出版株式会社. 東京.
- 樋口 朝美, 鈴木 博人, 川上 真吾, & 藤澤 宏幸. (2014). 健常者におけるベッド上での起き上がり動作パターンの研究. *東北理学療法学*, (26), 58-61.
- 平出 博一, & 日本画像医療システム工業会(JIRA)安全性委員会. (2014). 【mri室での吸着事故はなぜ減らない】 根底から防止策を考える 磁性体吸着事故防止に向けた業界団体からの提言. *新医療*, 41(8), 111-114.
- 平田 雅子. (2007). 1 身体/身体ケアに関する物理学. *New ベッドサイドを科学する -看護に生かす物理学*. 学習研究社, 18-19.
- 堀 文子, 上田 ゆみ子, 東松 ゆみ, 畠岡 美恵子, 高井 裕美, & 木寺 まみ子. (2006). 点滴台のポンプ装着による走行性と安定性の違い. *日本看護学会論文集: 看護管理*, (36), 30-32.
- 池岡 一彦. (2003). 【安全な看護を支える設備やモノの再点検】 輸液ポンプスタンドの転倒事故減少に向けて 倒れにくいセッティング方法と進行方向の探求と普及. *看護管理*, 13(2), 95-99.
- 今井 勝. (2009). 【こうして解決!"わかつちやいるけど、できない"ケア】 輸液ポンプ、"点滴スタンドの上につけない" "2台のせない"と言うけれど…。 *Expert Nurse*, 25(2), 55-57.
- 今井 寛志, 小林 賢, 東海林 淳一, 八並 光信, 佐古 めぐみ, 長谷 公隆, ... 千野 直一. (2002). 座位リーチ動作の運動学的解析 片麻痺患者と健常者の比較. *総合リハビリテーション*, 30(2), 161-166.
- Imms, F. J., & Edholm, O. G. (1981). Studies of gait and mobility in the elderly. *Age and Ageing*, 10(3), 147-156.
- 井上 裕次, 森島 健, 鈴木 正則, 遠藤 正樹, & 川間 健之介. (2013). 歩行時方向転換動作における下肢筋活動の筋電図による解析 サイドステップ時の支持側下肢長腓骨筋活動に着目して. *理学療法学*, 40 (大会特別号 3), P-A 基礎-232.

- 伊東 元, 長崎 浩, 丸山 仁司, 橋詰 謙 & 中村 隆一. (1989). 健常男子の最大速度歩行時における歩行周期の加齢変化. *日本老年医学会雑誌*, 26(4), 347-352.
- 伊東 元, 長崎 浩, 丸山 仁司, 橋詰 謙 & 中村 隆一. (1990). 健常老年者における最大歩行速度低下の決定因 重心動揺と歩行率の関連. *理学療法学*, 17(2), 123-125.
- 岩井 奈乙美, 大坪 幸絵, 三原 智美, 茂木 美由紀, 長谷川 博美, & 米田 恵美. (2009). Try try try ここからはじまる私たちの取り組み 三萩野病院 4 階病棟の取り組み 点滴スタンドを覆うスポンジ「安心だポン」を作製. *ナーシング*, 29(13), 42-43.
- 岩瀬 弘明, 村田 伸, 宮崎 純弥, 大田尾 浩, & 堀江 淳. (2011). 女性高齢者における床からの立ち上がり動作パターンの分類と身体機能の比較. *ヘルスプロモーション理学療法研究*, 1(1), 13-19.
- 岩瀬 弘明, 村田 伸, 宮崎 純弥, 大田尾 浩, & 堀江 淳. (2012). 男性高齢者における床からの立ち上がり動作に関する研究 立ち上がり動作パターンと身体機能の特徴. *ヘルスプロモーション理学療法研究*, 1(2), 101-108.
- Justine, M., Manaf, H., Sulaiman, A., Razi, S., & Alias, H. A. (2014). Sharp turning and corner turning: Comparison of energy expenditure, gait parameters, and level of fatigue among community-dwelling elderly. *BioMed Research International*, 2014, 640321.  
doi:10.1155/2014/640321 [doi]
- 株式会社トップ. (2013). トップ IV スタンドタイプN,  
[http://www.top-tokyo.co.jp/medical/pdf/info-sf14\\_s.pdf](http://www.top-tokyo.co.jp/medical/pdf/info-sf14_s.pdf) [2015/07/10]
- 開原 成充. (2003). 医療事故防止のためのヒヤリ・ハット事例の分析等に関する研究, 厚生労働科学研究費補助金健康安全総合研究経費医療技術評価総合研究.  
<file:///C:/Users/Owner/Downloads/200301054A0002.pdf> [2015/07/07]
- 階上 弘樹, 橋場 龍進, 平山 麻子, 風張 詩乃, & 田中 尚文. (2014). 健常者における歩行中の方向転換課題時の運動戦略の分析. *理学療法学*, 41 (大会特別号 2), 1233.
- 金子 純一郎, 黒澤 和生, 谷 浩明, & 丸山 仁司. (2000). 起き上がり動作に関する上肢の動作開始位置の検討. *理学療法学*, 27 (5), 157-161. 川島敏生. (2012). ぜんぶわかる筋肉・関節の動きとしくみ事典. 21, 31-33, 143. 成美堂出版. 東京.
- 加藤 象二郎, & 大久保 堯夫. (2006). 10 章 筋肉の活動を測る 初学者のための生体機能の測り方. 176-191. 日本出版サービス. 東京.
- 川原 由佳里. (2008). 【看護研究におけるアフォーダンスの可能性】 アフォーダンス理論

- からみた排泄行動 点滴スタンドの有無による変化に焦点を当てて. *看護研究*, 41(7), 539-548.
- 川村 治子. (2003). ヒヤリ・ハット 11,000 事例によるエラーマップ完全本. 医学書院. 東京
- 河村 祐美香, 杉野 周子, 前 杏奈, 小池 佳世子, 福永 智子, & 三好 雅代. (2013). 点滴化学療法患者の転倒予防への取り組み. *山口大学医学部附属病院看護部看護研究集録*, 平成 24 年度, 68-71.
- 河瀬 員子, 中村 記子, & 鈴木 千鶴. (2012). 環境汚染量に関する検討からわかった日常清掃の強化点 アデノシン三リン酸 (ATP) 測定器による定量評価. *Infection Control*, 21(4), 414-419.
- 川島 敏生. (2012). ぜんぶわかる筋肉・関節の動きとしくみ事典. 21, 31-33, 143. 成美堂出版. 東京.
- 数田 和恵, 浅田 照美, & 田中 一彦. (1988). 持続微量注入器用電源付き点滴台の作製. *ICU と CCU*, 12(3), 263-264.
- Kimura. T., Kobayashi. H. and Nakayama. E. (2007). Effects of aging on gait patterns in the healthy elderly. *Anthropological Science*, 115(1), 67-72. Retrieved October 27, 2009, from [http://www.jstage.jst.go.jp/article/ase/115/1/67/\\_pdf](http://www.jstage.jst.go.jp/article/ase/115/1/67/_pdf)
- 木村 正美, 下川 恭弘, 廣瀬 幸治, 村中 孝浩, 岩井 顯, & 上村 邦紀 (1996). Shouldering Rod の試作-中心静脈栄養および持続点滴時の点滴持ち運びの工夫, *臨床外科*, 51(4), 523-525.
- 北川 聡子, 石塚 道子, 菅野 千佳, 佐々木 ひと江, 佐藤 理江子, & 丸山 良子. (2000). 酸素療法を受けている患者の安全・安楽な移動への工夫 酸素ボンベカートと点滴スタンドの改善より. *日本看護学会論文集: 成人看護 I*, (30), 84-86.
- 木塚 朝博, 増田 正, 木竜 徹, & 佐渡山 亜兵. (2006). バイオメカニズムライブラリー 表面筋電図. 東京電機大学出版局. 東京.
- 国土交通省. (2012). 高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準. 第 2 章 単位空間等の設計, 2.4 屋内の通路, 2-47 - 2-52.
- 国立長寿医療センター研究所. (2012). 国立長寿医療研究センター・老化に関する長期縦断疫学研究. ( National Institute for Longevity Sciences - Longitudinal Study of Aging : NILS-LSA). X. 運動機能・身体活動量検査, 2) 歩行測定.  
<http://www.ncgg.go.jp/department/ep/monograph7thj/exercise.htm#2> 【2015/12/30】

- コクヨ. (2011). 医療施設用「点滴スタンド」を発売,  
<http://www.kokuyo.co.jp/com/press/2011/11/1207.html> [2015/07/10]
- 厚生労働省. (2011). 平成 23 年 (2011) 患者調査の概況.  
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/11/> [2015/05/03]
- 久野 譜也. (2000). 【二足歩行と大腰筋】 大腰筋の筋横断面積と疾走能力及び歩行能力との関係. *バイオメカニズム学会誌*, 24(3), 148-152.
- 蔵屋敷 美紀, & 高間 静子. (2013). 持続点滴を受ける患者のディストレス. *日本看護学会論文集: 看護総合*, (43), 27-30.
- Lord, S. R., Lloyd, D. G., & Li, S. K. (1996). Sensori-motor function, gait patterns and falls in community-dwelling women. *Age and Ageing*, 25(4), 292-299.
- 前岡 浩, 福本 貴彦, 坂口 顕, 長谷川 正哉, 金井 秀作, 高取 克彦, ... 庄本 康治. (2008). 画像解析ソフト imagej 信頼性の検証 立ち上がり動作を利用して. *理学療法科学*, 23(4), 529-533. [https://www.jstage.jst.go.jp/article/rika/23/4/23\\_4\\_529/\\_pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/article/rika/23/4/23_4_529/_pdf) [2015/07/02]
- 眞野 行生. (1999). 第 1 章 高齢者の転倒の特徴. 1 高齢者の転倒・転倒後症候群. 眞野行生編. 高齢者の転倒とその対策. 2-7. 医歯薬出版. 東京.
- 眞野 行生, 中根 理江, & 渡部 一郎. (1999). 第 1 章 高齢者の転倒の特徴. 2 高齢者の歩行と転倒の実態. 眞野行生編. 高齢者の転倒とその対策. 8-12. 医歯薬出版. 東京.
- 丸山 良子, 竹本 由香里, 村上 明子, 高橋 方子, 北川 聡子, 石塚 道子, ... 瀬戸 初江. (2001). 酸素療法を受けている患者の安全, 安楽な移動に関する研究 酸素ボンベカートと点滴スタンド改善の試み. *宮城大学看護学部紀要*, 4(1), 85-90.
- 松井 千賀子, 黒川 美和子, & 小河 節子. (1990). 持続点滴を受ける患者の安楽な歩行への援助 ボトルの揺れ防止器具の考案. *日本看護学会集録 21 回(看護総合)*, 204-207.
- Mirelman, A., Bernad-Elazari, H., Nobel, T., Thaler, A., Peruzzi, A., Plotnik, M., ... Hausdorff, J. M. (2015). Effects of aging on arm swing during gait: The role of gait speed and dual tasking. *PloS One*, 10(8), e0136043. doi:10.1371/journal.pone.0136043 [doi]
- 三谷 篤史, 酒井 正幸, 多賀 昌江, 神島 滋子, & 照井 レナ. (2008). 点滴スタンドのユーザビリティ評価 (第 2 報) 点滴スタンド使用時の騒音についての考察. *SCU Journal of Design & Nursing*, 2(1), 33-38.
- 文部科学省. (1999). 新体力テスト実施要項 (65 歳～79 歳対象).  
[http://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/sports/detail/\\_icsFiles/fieldfile/2010/07/30/12950](http://www.mext.go.jp/component/a_menu/sports/detail/_icsFiles/fieldfile/2010/07/30/12950)

79\_04.pdf 【2015/08/21】

- 文部科学省. (2014). 平成 25 年度 体力・運動能力調査 握力 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001055014&cycode=0> [2015/09/08]
- 森山 成彬. (2002). 精神科病院における高齢痴呆患者の転倒, *精神医学* 44: 1277-1286.
- 本山 照美, 高出 昌子, 山森 美智代, & 他. (1989). IVH の安全管理 歩行用支柱台の改善としおりによる患者指導. *看護の研究*, (21), 95-97.
- 村上 直子. (2002). 21・実践へのアドバイス 持続点滴中の安全を守る看護用具の工夫 ゆれないゾウ. *看護実践の科学*, 27(13), 94-95.
- 内藤 知佐子, & 任 和子. (2013). 第 9 章 与薬の技術, 任和子監修, 系統看護学講座専門分野 I 基礎看護学 [3] 基礎看護技術 II 第 16 版, 311, 医学書院. 東京.
- 中森 一子. (1980). 看護用具の工夫点滴台 (持続点滴用), *看護技術*, 26(14), 1850-1851.
- 中村 隆一, 斎藤 宏, & 長崎 浩. (2012). 基礎運動学 (第 6 版補訂版). 305-310, 389. 医歯薬出版株式会社. 東京.
- 日本工業標準調査会 (2005). <http://www.jisc.go.jp/app/pager> [2015/08/18]
- 日本工業規格 JIS Z 8521 (1999).
- 日本松 裕子, & 名田 那美香. (2014). ひらめき現場のアイデアグッズ(No.39) 点滴スタンド引っ掛かり防止器具『ひっかからん』. *Nursing BUSINESS*, 8(3), 229.
- 西田 映子, & 池 美保. (2004). 乳幼児のための安全に移動できる固定器具の工夫 ベビーバギーとイルリガートル台との間に固定器具を使用して. *日本看護学会論文集: 看護総合*, (35), 163-165.
- 西田 直子. (2008). 患者のよい動作への看護援助に関する研究の動向と展望. *人間工学*, 44(4), 185-192.
- 西村 美加, 加藤 佳美, 羽下 順子, & 吉澤 浩子. (2008). 看護師が発生源である夜間の音に関する調査. *日本看護学会論文集: 看護総合*, (39), 89-91.
- 西澤 哲. (2000). 地域在住高齢者の歩行能力について. 長期プロジェクト研究報告書 中年からの老化予防に関する医学的研究. 財団法人東京都老人総合研究所. 120-132.
- 大舘 孝幸, 木村 好文, 高橋 俊郎, & 勝木 孝明. (2004). PCPS 装置用コンパクト架台の製作. *体外循環技術*, 31(2), 191-193.
- 小田 利通. (1990). 輸液ポンプ使用患者の搬送用ベッドと輸液スタンドの固定装置. *臨床麻酔*, 14(2), 250-251.

OECD (2013), Average length of stay in hospital, 2000 and 2011 (or nearest year), in *Health at a Glance 2013*, OECD Publishing, Paris.

DOI: [http://dx.doi.org/10.1787/health\\_glance-2013-graph77-en](http://dx.doi.org/10.1787/health_glance-2013-graph77-en)

小川 鑛一. (2008). イラストで学ぶ 看護人間工学. 東京電機大学出版局. 6-7. 東京.

岡田 みずほ, 新居 優紀, 横山 里佳子, 村上 美智恵, & 宮武 節子. (2009). 点滴を受けている患者の苦痛に対する援助の検討 看護師の意識調査を通して. *中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会誌*, 5, 98-101.

岡村製作所. (2014). OKAMURA News Release.

[http://www.okamura.co.jp/company/topics/award/2014/divo\\_mono\\_2014.php](http://www.okamura.co.jp/company/topics/award/2014/divo_mono_2014.php) [2015/07/10]

奥 壽郎, 廣瀬 昇, 加藤 宗規, & 丸山 仁司. (2009). 杖の使用が歩行時体幹・下肢筋筋活動に与える影響 高齢者擬似体験装具を用いた検討. *理学療法科学*, 24(5), 709-713.

雄西 智恵美. (1991). 高カロリー輸液施行中の歩行移動に対する援助. *臨床看護*, 17(9), 1372-1376.

小沼 早苗, & 伊藤 美智子. (1991). 私の病院の看護用具・環境改善アイデア集 Adl の拡大 開放式尿袋・排尿チューブの固定と移動式点滴台を利用した尿袋ハンガー. *看護技術*, Hilo37(6), 584-585.

大田 由希子. (2011). 輸液ポンプ・輸液を設置した点滴台の選択 安定性・走行性の違いから. *三田市民病院誌*, 23, 52-58.

パラマウントベッド株式会社. (2015). I V スタンド.

<http://www.paramount.co.jp/product/list/20/1847> [2015/07/10]

Perotto, A. O. (1994/1997). 筋電図のための解剖ガイド 四肢・体幹(第3版). 栢森良二訳. 西村書店. 新潟.

Pettineo, C. M., Vozenilek, J. A., Kharasch, M., Wang, E., Aitchison, P., & Arreguin, A. (2008).

Inconspicuous portable audio/visual recording: Transforming an IV pole into a mobile video capture stand. *Simulation in Healthcare : Journal of the Society for Simulation in Healthcare*, 3(3), 180-182. doi:10.1097/01.SIH.0000305957.84623.3c [doi]

リチャードソン. A. (2004). 輸液ポンプ -患者の視点から-, パトリス. L. S 編, 患者と減らそう医療ミス-患者は安全パートナー-, 長谷川友紀監訳 (2005). エルゼビア・ジャパン, 48-59. 東京.

坂本 裕子, 河村 香子, 加藤 恒子, & 川島 陽子. (1998). 点滴台への輸液パック固定法 安



- 全・安楽に歩行出来るための工夫. *市立三沢病院医誌*, 7(1), 71-73.
- 佐藤 浩二, 黒瀬 一郎, 西ノ園 龍太郎, 矢野 高正, 梅尾 さやか, 河野 寿々代, ... 森 照明. (2012). 患者参加型の転倒防止活動の効果 患者モニター活動を通して. *リハビリナース*, 5(4), 414-419.
- 佐々木 博美, 片岡 幸代, & 鈴木 真. (2001). 歩行計測によるベビーカーのハンドル高さ評価. 育児工学研究会, 第 6 回研究会, [http://www.me.sie.dendai.ac.jp/ikuji/resources/6th\\_sasaki.pdf](http://www.me.sie.dendai.ac.jp/ikuji/resources/6th_sasaki.pdf) [2015/07/02]
- 佐々木 俊郎, 柴田 俊成, 谷口 英喜, 渡部 節子, 鈴木 純子, & 本橋 久彦. (2003). 麻酔前投薬廃止と手術室歩行入室の導入及びその効果. *臨床外科*, 58(7), 985-987.
- 関矢 和樹, 深澤 伸慈, 金 大永, & 小林 英津子. (2014). 転倒防止機能を備えた点滴台の開発. *医療機器学*, 84(2), 281.
- 仙波 浩幸, & 近藤 泰児. (2004). 病院における転倒事故防止一点滴架台を使用しての歩行. *東日本整形災害外科学会雑誌*, 16(3), 481.
- 白戸 弘道, 伊藤 八次, 加藤 雅也, 小川 晴子, 水田 啓介, & 宮田 英雄. (1997). 高齢者の歩行 歩行分析による検討. *Equilibrium Research*, 56(1), 86-99.
- 白戸 弘道, 小川 晴子, 加藤 雅也, 水田 啓介, 伊藤 八次, & 宮田 英雄. (1993). 高齢者の歩行 肉眼的観察とポリグラフ記録による検討. *耳鼻と臨床*, 39 (補冊 2), 821-828.
- 新藤 悦子. (1993). イリゲータースタンドのキャスターの検討. *日本人間工学会第23 回関東支部大会講演集*, 112-113.
- 新藤 悦子, 周藤 泉澄, 野呂 影勇, & 大河原 千鶴子. (1994). イリゲータースタンドの検討 ～扱いやすさの比較～. *人間工学*, 30(特別号), 354-355.
- 新藤 悦子. (2005). 看護用具・用品の改良開発に関する研究—点滴架台について. 平成 16 年度慶應義塾大学 SFC 研究所プロジェクト補助研究報告書. <http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/report/project/2004/1.html> [2015/07/06]
- Solis, D., Jr, Paul, A., Olson, J., Slaughter, L. S., Swanglap, P., Chang, W. S., & Link, S. (2013). Turning the corner: Efficient energy transfer in bent plasmonic nanoparticle chain waveguides. *Nano Letters*, 13(10), 4779-4784. doi:10.1021/nl402358h [doi]
- Strike, S. C., & Taylor, M. J. (2009). The temporal-spatial and ground reaction impulses of turning gait: Is turning symmetrical? *Gait & Posture*, 29(4), 597-602. doi:10.1016/j.gaitpost.2008.12.015 [doi]

- 鈴木 聖子. (2012). 第4章治療・処置を受ける対象者への看護 A 輸液療法を受ける対象者への看護, 香春知永編著, 系統看護学講座専門分野 I 臨床看護総論第5版, 264-270, 医学書院. 東京.
- 須藤 恭子. (2014). 【まだまだあります! 看護手技の「ここが変わった」】 点滴 シリンジポンプは「点滴架台のハンドルに合わせて設置しない」. *Expert Nurse*, 30(4), 16.
- 蓼沼 拓, 酒井 康生, & 馬庭 壯吉. (2006). 入院患者における転倒の危険因子の分析と対策. *島根医学*, 26(4), 264-269.
- 多賀 昌江, 照井 レナ, 神島 滋子, 三谷 篤史, & 酒井 正幸. (2008). 点滴スタンドのユーザビリティ評価 (第1報) 患者と看護師の使用感についての考察. *SCU Journal of Design & Nursing*, 2(1), 25-32.
- 田口 有紀, 宮崎 智子, 吉田 智美, 小池 克枝, 佐藤 まゆみ, & 会田 繁子. (2009). 夜間の排泄行動による転倒転落予防への取り組み. *社会保険医学雑誌*, 45, 75-78.
- 武田 美佐, 香留 崇, & 仙波 健太郎. (2012). 病院内で転倒し眼球破裂を生じた1例. *徳島県立中央病院医学雑誌*, 33, 35-38.
- 田宮 万理子, 井出 加奈子, & 静岡県 CAPD 看護研究会災害対策チーム. (2010). 私たちはこうしている 災害対策 PD 患者の災害対策 静岡県 CAPD 研究会での取り組み. *腎と透析*, 69(別冊 腹膜透析 2010), 182-184.
- 田中 順子, 江口 淳子, 小原 謙一, & 齋藤 芳徳. (2007a). 関節リウマチ患者のための試作ショッピングカートの検討. *川崎医療福祉学会誌*, 16(2), 335-341. [http://www.kawasaki-m.ac.jp/soc/mw/journal/jp/2007-j16-2/20\\_tanaka.pdf](http://www.kawasaki-m.ac.jp/soc/mw/journal/jp/2007-j16-2/20_tanaka.pdf) [2015-06-30].
- 田中 順子, 江口 淳子, 小原 謙一, & 齋藤 芳徳. (2007b). ショッピングカートのタイプの違いが筋活動に及ぼす影響. *川崎医療福祉学会誌*, 16(2), 329-333. [http://www.kawasaki-m.ac.jp/soc/mw/journal/jp/2007-j16-2/19\\_tanaka.pdf](http://www.kawasaki-m.ac.jp/soc/mw/journal/jp/2007-j16-2/19_tanaka.pdf) [2015-06-30].
- Taylor, M. J., Dabnichki, P., & Strike, S. C. (2005). A three-dimensional biomechanical comparison between turning strategies during the stance phase of walking. *Human Movement Science*, 24(4), 558-573. doi:S0167-9457(05)00051-5 [pii]
- Taylor, M. J., & Strike, S. C. (2009). Ground reaction impulses during 90° turning. *Gait & Posture* 30S. S113. doi: 10.1016/j.gaitpost.2009.08.169
- 寺井 美峰子. (2002). 病院建築・設備とリスクマネジメント 転倒・転落を中心に 医療現場の転倒・転落の実態 リスクマネジャーの立場から. *病院設備*, 44(2), 179-180.

- Thigpen, M. T., Light, K. E., Creel, G. L., & Flynn, S. M. (2000). Turning difficulty characteristics of adults aged 65 years or older. *Physical Therapy*, 80(12), 1174-1187.
- 上田 敏, & 大川 弥生. (1996). 脳卒中における実用歩行訓練 実用歩行訓練における各種歩行補助具の使い方 特に歩行補助具の使い分けの重要性について. *理学療法ジャーナル*, 30(4), 232-237.
- Winter, D. A., Patla, A. E., Frank, J. S., & Walt, S. E. (1990). Biomechanical walking pattern changes in the fit and healthy elderly. *Physical Therapy*, 70(6), 340-347.
- 山田 実, & 原田 真. (2009). 地域在住の特定高齢者における複数課題条件下での障害物回避能力 転倒経験高齢者と非転倒経験高齢者との比較. *保健師ジャーナル*, 65(11), 960-963.
- 山口 泰輝, 山田 実, 永井 宏達, 西口 周, & 青山 朋樹. (2013). 疑似下肢障害モデル条件下における歩行時の視線変化. *リハビリテーション科診療近畿地方会誌*, (13), 31-36.
- Yamaguchi, T., Yano, M., Onodera, H., & Hokkirigawa, K. (2012). Effect of turning angle on falls caused by induced slips during turning. *Journal of Biomechanics*, 45(15), 2624-2629. doi:10.1016/j.jbiomech.2012.08.006 [doi]
- 山谷 裕哉, 土井 司, 上山 毅, 錦 成郎, 小倉 昭夫, 川光 秀昭, ... 松田 豪. (2013). Mr 検査における大型強磁性体吸引事故の原因分析. *日本放射線技術学会雑誌*, 69(1), 99-108.
- 安田 美智子, 村瀬 妙子, & 長瀬 清. (2013). 緊急性への対応課題が明らかになった A 病院の手術室災害対策マニュアル. *日本手術医学会誌*, 34(3), 297-299.
- 安井 重男, 藤本 将志, 大沼 俊博, 渡邊 裕文, 貝尻 望, 田尻 恵乃, ... 鈴木 俊明. (2009). 一側下肢支持立位における一側杖への上肢荷重量の変化が広背筋上部線維・下部線維、腹斜筋群、腰背筋群の筋電図積分値に及ぼす影響 杖側下肢支持および非杖側下肢支持課題による検討. *関西理学療法*, 9, 97-103.
- 横田 知明, & 村木 里志. (2014). 松葉杖のグリップ径が杖使用時における手部の負担に及ぼす影響. *人間工学*, 50(5), 286-293.
- 米田 恵美, & 高橋 素子. (2010). 看護のアイデア 点滴スタンドフックひっかかり防止装置「安心だポン」 三萩野病院の継続した qc サークル活動の成果. *看護管理*, 20(1), 66-67.
- 米田 恵美, & 船越 幸恵. (2009). キラリ現場のアイデアグッズ 点滴スタンド用安心スポンジ「安心だポン」. *Smart Nurse*, 11(10), 1115.
- 吉崎 明子, 宮脇 若葉, 三浦 美穂, 飯島 美抄子, & 大内 能子. (2005). 医療安全管理対策の

現状と今後の課題 小児の持続輸液管理における検討 輸液経過グラフの作成とその有用性の検討. *逡信医学*, 57(2), 85-90.

前明力 友美, 稲迫 万記恵, 井上 千恵, & 浜田 恵子. (1997). 静脈内持続点滴患児の移動に伴う母親の身体的疲労の軽減 買物用カートを点滴台に代用しての効果. *広島県立病院医誌*, 29(1), 187-192.